

【 付 属 資 料 】

● 諮問・答申

○五泉市総合計画審議会

- ▶ 五泉市総合計画後期基本計画について（諮問） 123
- ▶ 五泉市総合計画後期基本計画について（答申） 124

○村松地域審議会

- ▶ 五泉市総合計画後期基本計画について（諮問） 126
- ▶ 五泉市総合計画後期基本計画について（答申） 127

● 名簿

○五泉市総合計画審議会委員名簿 129

○村松地域審議会委員名簿 130

○五泉市総合計画市民まちづくり会議委員名簿 131

○五泉市総合計画策定委員会委員名簿 132

○五泉市総合計画策定部会委員名簿 133

●五泉市総合計画策定体制図 134

●後期基本計画策定経過 135

●用語集（本文中の※印について解説） 137

五企第 165 号

平成24年1月20日

五泉市総合計画審議会

会 長 樋 口 滋 様

五泉市長 伊 藤 勝 美

五泉市総合計画後期基本計画について（諮問）

五泉市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、五泉市総合計画後期基本計画について、貴審議会の意見を求めたく諮問します。

平成24年2月15日

五泉市長 伊藤 勝 美 様

五泉市総合計画審議会

会 長 樋 口 滋

五泉市総合計画後期基本計画について（答申）

平成24年1月20日付け五企第165号で本審議会に諮問のありましたことについて、慎重に審議した結果、概ね妥当であると認め答申します。

なお、下記の点に留意され、計画の実現に向けて努力されるよう要望します。

記

1 「いきいきの泉水」

- ① 教育の推進にあたっては、子どもたちが学ぶ意欲を持つという基本を十分踏まえたい。
取り組まれない。
- ② 子どもたちの学習に対して、保護者が意欲を持つような取り組みを積極的に実施されたい。
- ③ 地域の貴重な伝統文化の保存と、子どもたちが学習できるような環境づくりに取り組まれない。
- ④ 自校給食方式整備が未実施の学校については早急に整備するよう取り組まれない。

2 「安心の泉水」

- ① 産科の誘致・確保を行い、安心して子供を産める環境の整備に積極的に取り組まれない。
- ② 今後より一層進展する高齢化に向けて、高齢者を地域で支える体制の構築に積極的に取り組まれない。

- ③ 自然環境の保護に積極的に取り組まれるとともに、環境保全団体の育成にも努められたい。
- ④ 消防体制の充実のため、消防団員の確保について積極的に取り組まれたい。

3 「ふれあいの泉水」

- ① 青少年の育成については、家庭や地域の取り組みだけではなく、学校においても授業の時間を設けるなどの取り組みを検討されたい。

4 「活気の泉水」

- ① 企業誘致において他の自治体にはない優遇措置を検討され、積極的な誘致に取り組まれたい。
- ② 農業経営の多角化を図るための、6次産業化に向けて積極的に取り組まれたい。

5 「快適の泉水」

- ① ごみの削減、再利用、再資源化に対する意識の高揚に向けた取り組みに今後も積極的に取り組まれたい。
- ② 新潟市へのアクセス道路の整備について積極的に取り組まれたい。

6 「基本構想・基本計画の実現のために」

- ① 審議会等の委員については、公募の比率を向上させるよう努められたい。
- ② 行政評価制度については、内部のチェックだけでなく、専門的な知識を持った外部組織によるチェック体制の導入を今後検討されたい。
- ③ 市政の広報にあたっては、市民が理解しやすいような表現方法に努めるとともに、積極的に情報提供を行うよう取り組まれたい。
- ④ 近年の経済情勢の変化等を踏まえ、新市建設計画搭載事業の検証が必要である。とりわけ「新庁舎建設」については、市民の関心も高いことから、市民参加での検討の場を設けられたい。

五支所地第 49 号

平成24年1月24日

村松地域審議会会長 様

五泉市長 伊藤 勝美

五泉市総合計画後期基本計画について（諮問）

地域審議会の組織及び運営に関する事項第3条第1項の規定に基づき、五泉市総合計画後期基本計画について、貴審議会の意見を求めたく諮問します。

平成24年2月17日

五泉市長 伊藤 勝 美 様

村松地域審議会

会長 茂野 絃 一

五泉市総合計画後期基本計画について（答申）

平成24年1月24日付け五支所第49号で諮問のありました五泉市総合計画後期基本計画について、当審議会で慎重に審議した結果、概ね適切であると認め、下記の意見を付して答申します。

記

全体事項

1. 後期基本計画は、合併時の「新市建設計画」を踏まえ、市民と行政の役割を明らかにして、村松地域に支所機能を維持しながら、市民協働により諸施策を実現するように取り組まれない。
2. 後期基本計画の施策実現に向けて、縦割り行政でなく各課連携のもと、市民と一体となり実現していくことが重要である。そのため、本計画の内容を市民にわかりやすく伝えるように取り組まれない。

基本政策別事項

1 「いきいきの泉水」

- ① 教育の推進にあたっては、家庭で培われた子どもの感性や希望、力強さが学校で育っていきけるよう、学校と家庭の相互の教育が結び合うような施策に取り組まれない。
- ② 食育の充実にあたっては、家庭における食が大切なことから、家庭での食のあり方も、食育に繋がる事業として取り組みを進められたい。
- ③ 芸術文化の推進にあたっては、五泉市の農業ブランドなどと一体となって芸術文化分野で

の、新しい五泉イメージ創造の施策に取り組まれない。

- ④ 文化財の保護活用にあたっては、郷土資料館を核として、寺子屋事業、図書館事業、文化財保護事業をリンクして、子供たちが自分の育ったところの歴史に興味を持つことができ、郷土愛が育まれる施策を進められたい。

2 「安心の泉水」

- ① 産科の誘致・確保を行い、安心して子供を産める環境の整備に積極的に取り組まれない。
- ② 交通安全の推進にあたっては、子どもたちや高齢者だけでなく、一般市民のための交通安全教室事業を進められたい。
- ③ 消防体制の充実のため、消防団員の確保について積極的に取り組まれない。

3 「ふれあいの泉水」

- ① 福祉活動の充実を図るには、各種ボランティア団体の円滑な活動展開が重要であることから、ボランティア団体の育成や支援について積極的に取り組まれない。

4 「活気の泉水」

- ① 里山再生にあたっては、現在実施されている取り組みに加えて、多面的機能を加味して、新たな対策を積極的に進められたい。
- ② 産業、観光振興のため、拠点整備を進められたい。
- ③ 市民の雇用環境整備と就労支援のため、市独自の事業展開を進められたい。

5 「快適の泉水」

- ① 村松公園を活用した、市民と行政が一体となって、新しいまちづくりができる多様な施策を進められたい。
- ② 五泉市独自の家庭ごみの再利用や再資源化に取り組まれない。

6 「基本構想・基本計画の実現のために」

- ① 将来の行政需要は予測が困難である。新市建設計画搭載事業の「新庁舎建設」など、大きな財源を必要とするものは、市民及び市がお互いに尊重して、それぞれの役割と責任に基づき連携協力して、検証の上取り組まれない。
- ② 後期基本計画の実施については、地域審議会の意見や提案を考慮して進められたい。

五泉市総合計画審議会委員名簿

役職	氏名	分野	団体名等
	熊倉 政一	市議会議員	総務文教常任委員長
	阿部 周夫		厚生経済常任委員長
	剣持 雄吾		建設企業常任委員長
会長	樋口 滋	商工業	五泉商工会議所 会頭
	茂野 紘一		村松商工会 会長
	桐生 友夫		五泉ニット工業協同組合 理事長
	関川 和男		五泉商業協同組合 代表理事長
副会長	伊藤 能徳	農業	新潟みらい農業協同組合 理事
	阿部 良夫		新潟みらい農業協同組合 五泉園芸組織連絡協議会 副会長
	瀧澤 健一		五泉市農業委員会 会長代理
	米原 裕子	教育	五泉市教育委員会 委員
	岩出 一夫		五泉市体育協会 副会長
	松尾 幸一		五泉市文化協会 会長
	荏部 明彦		五泉市青少年健全育成市民会議 副会長
	佐久間淳介		五泉市社会教育委員 副委員長
	塚野 健男	福祉・健康・環境	五泉市社会福祉協議会 事務局長
	山崎 洋子		五泉市食生活改善推進委員 副会長
	小浦方禮次		五泉市公衆衛生協会 環境浄化部長
	和泉 純二	その他市長が特に必要と認める者	五泉市総合計画市民まちづくり会議

村松地域審議会委員名簿

役職	氏名	分野	団体名等
	浅田 光雄	農林業団体、商工業団体	村松商工会役員
	桐生 忠教		認定農業者会会長
	柄澤 正		中蒲みどり森林組合参事
	亀山 拓永		村松商工会役員
	品田 勝	教育・文化・体育	五泉市文化協会 副会長
	金子トシ子		五泉市文化協会 理事
	松尾 幸一		五泉市文化協会 会長
	樋口 義彦		五泉市文化協会 事務局
	梁取 静五	福祉・衛生分野	鳥獣保護員
副会長	鈴木紀美子		交通安全推進委員
	松尾タカ子		食生活改善推進委員
	鈴木千鶴子		母子保健推進員
会 長	茂野 紘一	その他識見を有する者	村松商工会 会長
	桐生 隆		農業
	神尾すみ江		材木店

五泉市総合計画市民まちづくり会議委員名簿

役職	氏名	分野	団体名等
会 長	渡 邊 照 男	高齢者	五泉市老人クラブ連合会
	木 津 輝 子		五泉市高齢者保健福祉市民会議
	五十嵐 久 二	保健・医療	五泉市健康増進計画推進委員会
副会長	山 下 文 子		五泉市母子保健推進員の会
	田 中 弘	商業・工業	五泉商工会議所
	佐々木 克 浩		村松商工会
	浅 井 久美雄	農業	五泉地域認定農業者会
	桐 生 忠 教		村松地域認定農業者会議
	田 邊 弘 子	福祉	五泉市民生委員児童委員協議会
	石 本 一 男		(福)中東福祉会
	山 下 浩 子	子育て	すてきネット五泉
	齋 藤 多美子	教育	五泉市立小中学校校長会
	横 山 昇	まちづくり	ごせん夢会議
	高 橋 哲	公募	
	和 泉 純 二		
	松 川 徹 也		

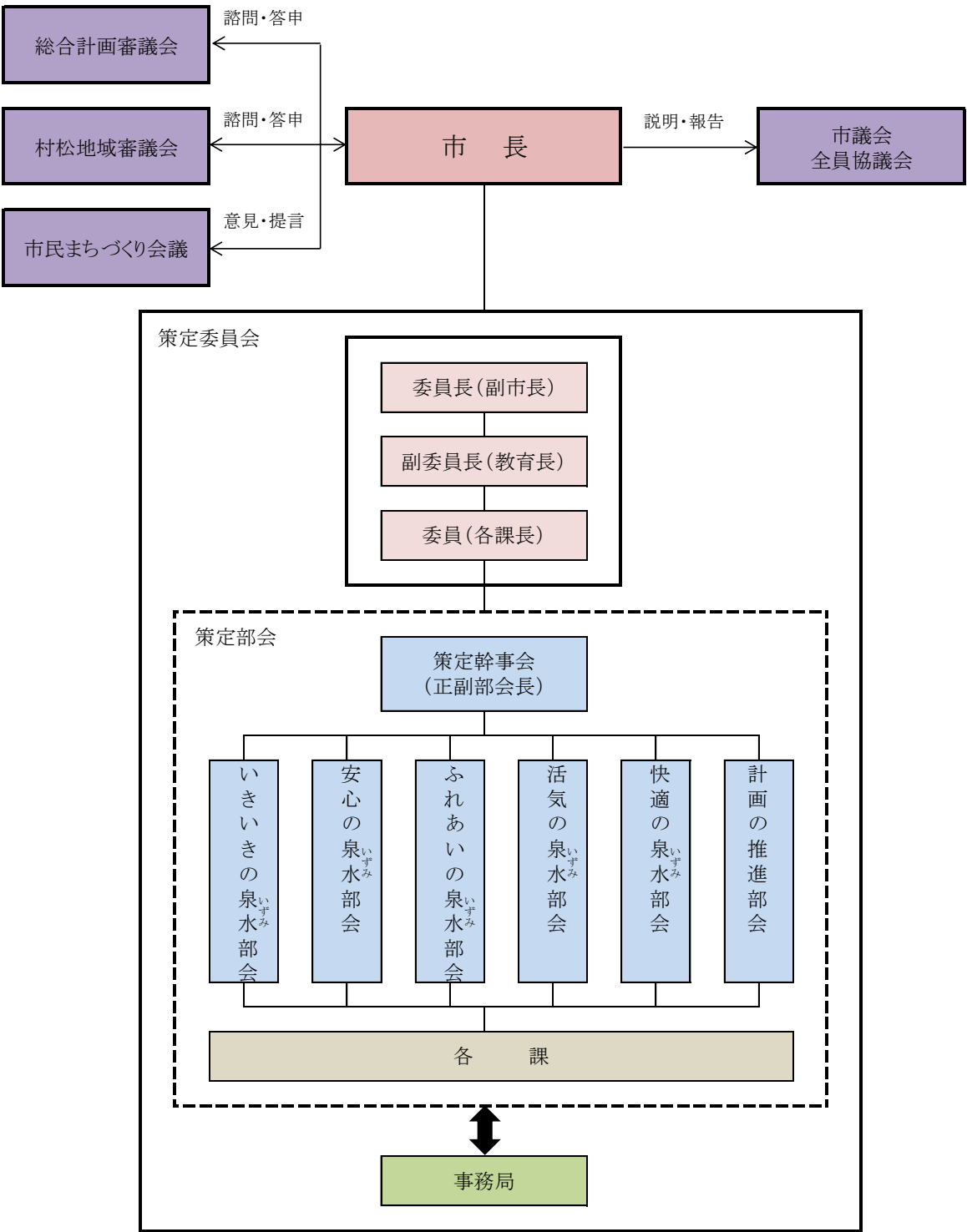
五泉市総合計画策定委員会名簿

区分	職名	氏名
委員長	副市長	五十嵐 明
副委員長	教育長	井上 幸直
委員	総務課長	小林 康三
〃	支所長兼地域振興課長	笠原 伸五
〃	企画政策課長	川村 正美
〃	財政課長	番場 幸夫
〃	会計管理者兼会計課長	佐藤 康信
〃	税務課長	新堀 清隆
〃	市民課長	山田 千舟
〃	環境保全課長	皆川 秀男
〃	健康福祉課長	小島 隆
〃	高齢福祉課長	落合 英昭
〃	こども課長	杉山 信二
〃	農林課長	高岡 徳康
〃	商工観光課長	西川 和明
〃	都市整備課長	塚野 文雄
〃	上下水道局長	石本勇貴高
〃	議会事務局長	梁取 浩
〃	監査委員事務局長	星野 弘
〃	農業委員会事務局長	渡辺 隆一
〃	学校教育課長	小黒 常樹
〃	生涯学習課長	湯浅 善章
〃	図書館長	酒井 範子
〃	消防長・消防本部総務課長	東間 正義
〃	予防課長兼消防署長	板垣 良一

五泉市総合計画策定部会名簿

区分	職名	氏名
いきいきの泉水部会	健康福祉課主幹	廣田 雅代
	高齢福祉課村松事務所課長補佐	山崎 勝幸
	学校教育課課長補佐	熊倉 淳也
	生涯学習課課長補佐	山崎 淳
	図書館次長	廣瀬 郁平
安心の泉水部会	総務課主幹	亀山 和弘
	市民課課長補佐	中川 利美
	環境保全課主幹	松尾 寿弘
	健康福祉課村松事務所課長補佐	難波 恵子
	高齢福祉課課長補佐	塚野 康志
	こども課課長補佐	熊倉 央
	都市整備課課長補佐	塚野 一也
	上下水道局主幹	大塚 兼則
	学校教育課課長補佐	笹川 和則
	消防本部総務課課長補佐	佐藤 志信
	消防本部総務課課長補佐	長谷川 亘
ふれあいの泉水部会	総務課主幹	佐野 真也
	健康福祉課課長補佐	寺田 亨
	生涯学習課主幹	弦巻 好典
活気の泉水部会	農林課課長補佐	佐藤 豊
	商工観光課課長補佐	瀧澤 一之
快適の泉水部会	企画政策課主査	本間 泰巳
	環境保全課課長補佐	三浦 一宏
	都市整備課課長補佐	山田 正良
	上下水道局主幹	齋藤 達哉
計画の推進部会	総務課課長補佐	佐久間謙一
	企画政策課主幹	林 学
	財政課課長補佐	高橋 浩昭

五泉市総合計画策定体制図



後期基本計画策定経過

1 市民意識調査

平成 22 年 11 月 25 日～12 月 20 日

20 歳以上 3,000 人対象、有効回答数 1,212 人、回収率 40.4%

2 策定委員会

副市長・教育長・課長級 25 人

平成 23 年 5 月 25 日 説明

平成 23 年 8 月 29 日、12 月 26 日 2 回

後期基本計画の素案作成

3 策定部会

課長補佐・係長級 27 人 6 部会編成

平成 23 年 6 月 23 日、8 月 5 日、8 月 29 日、

10 月 11 日、11 月 24 日 5 回 ※その他部会ごとに随時開催

前期基本計画における課題の整理と分析

後期基本計画の素案作成

4 五泉市総合計画市民まちづくり会議

委員 16 人（うち公募委員 3 人）

平成 23 年 9 月 30 日、10 月 13 日、10 月 26 日、

12 月 16 日、12 月 20 日 5 回

市民意識調査の結果から明らかになった重点課題の改善に向けた検討

後期基本計画への意見反映

5 村松地域審議会

委員 15 人

平成 24 年 1 月 24 日、2 月 1 日、2 月 7 日、2 月 17 日 審議

平成 24 年 2 月 17 日 答申

6 五泉市総合計画審議会

委員 19 人

平成 24 年 1 月 20 日、1 月 27 日、2 月 3 日、2 月 15 日 審議

平成 24 年 2 月 15 日 答申

7 パブリックコメント

平成 24 年 1 月 25 日～2 月 15 日 意見募集

市ホームページ、本庁・支所行政資料コーナー、企画政策課、五泉図書館、村松図書館で案
の公表

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
アルファベット	AED	自動体外式除細動器 心臓の突然の停止の際に電気ショックを与え（電氣的除細動）、心臓の働きを戻すを試みる医療機器。2004年7月から一般でも使用できるようになった。
	BOD	水中の有機物が微生物の働きによって分解されるために要した酸素の量を示した数値のこと。水質が悪いほどBODの数値は高くなる。
	DV	ドメスティック・バイオレンスの略。配偶者や内縁関係などにある者から受ける暴力のこと。ドメスティックは本来「家庭の」という意味だが、近年ではDVの概念は同居の有無を問わず、元夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力全般のことを指す場合もある。
	ICT	Information & Communication Tecknologyの略。 情報通信技術を表す言葉で、日本ではITが同義語が使われているが、国際的にはITにコミュニケーションを加えたICTが一般的に使われている。
	PDCAサイクル	Plan(計画)-Do(実行)-Check(評価)-Action(見直し)のサイクルで事業の継続的改善を図ること。
	U・J・Iターン	Uターン、Jターン、Iターンの総称。 Uターン：地方部に居住していた人が、就職等により都市部に定住した後、再び元の地方部に戻って定住すること。 Jターン：地方部に居住していた人が、就職等により都市部に定住した後、元の地方部に戻らず、別の地方部に定住すること。 Iターン：都市部に居住していた人が、地方部に定住すること。
い	育児・介護休業法	育児や、家族の介護を行う労働者の、職業生活と家庭生活との両立を支援する法律。
	一次医療	身近な医療機関での最初に接する医療。
	移動市長室	住民との融和を図り、円滑な市政運営を行うため、市長をはじめとした理事者、課長職が町内会等に出向き市民と対話を行うもの。
え	エコファーマー	『土づくり・減化学肥料・減化学農薬』の3つの技術に一体的に取り組む農業者のこと。県で定める指針に適合する農業者を知事が認定する。
	SLばんえつ物語号	磐越西線を走るSLということから「ばんえつ」を、豊かな森と水に育まれた自然と人が触れあうことで生まれる「物語」と組み合わせ「SLばんえつ物語」号と命名された。
お	オゾン層	上空10～50kmの成層圏にあるオゾンの濃度が高い部分のこと。オゾン層には、太陽光線に含まれる有害な紫外線を吸収する働きがあるため、地球上の生物を守るバリアとなっている。 しかし、近年、大気中に排出されるフロン（冷蔵庫やエアコンの冷媒、スプレーなどの噴射剤に使われる化学物質）などによりオゾン層の破壊が進行し、有害紫外線の増加による皮膚ガンや白内障の発症が増えたり、動植物の生育を阻害するなどの影響が出ている。
	お茶の間サロン	外出機会の少ない高齢者が仲間づくりや交流を深めるための場所。各地域の集会所等で定期的に行われており、平成23年末で市内100カ所のお茶の間サロンが活動している。
	温室効果ガス	平成10年に制定された「地球温暖化対策の推進に関する法律（略称：地球温暖化対策推進法）」において、二酸化炭素（CO ₂ ）、メタン（CH ₄ ）、一酸化二窒素（N ₂ O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF ₆ ）の6種類を対象としている。なお、地球温暖化に最も大きな影響を与えているのは「二酸化炭素」で、その割合は地球全体の6割以上、日本では9割以上を占めている。

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
か	介護保険事業計画	介護保険事業を円滑に行うため、介護保険法の規定に基づいて保険者（市町村）が3年を1期として策定する計画。人口や介護サービス需要の推計や介護保険料、介護施設の整備予定などを規定している。介護保険は平成12年度に始まり、平成24年度は第5期計画の初年度にあたる。
	学童クラブ	小学校低学年の児童が、保護者の就労等により昼間家庭にいられない場合、保護者に代わって学童クラブにおいて生活の場を確保し、保育を行うことで、心身の健全な育成を図ることを目的としている。
	学童保育	就労等の事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育のこと。
	合併処理浄化槽	トイレの汚水のほか、台所や風呂・洗濯水等の生活雑排水も汚水処理して河川等に放流する汚水処理浄化槽のこと。
	家庭教育学級	親が親として育つ場であり、自分の家庭における子育てや教育に活かせる内容を意図的に学習する事を目的とした研修。
	簡易水道	101人以上5,000人以下を給水人口とする水道。
	環境マネジメントシステム（EMS）	組織が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるにあたって、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、PDCAサイクルにより取り組んでいくための組織内の体制や手続を整えた仕組みのこと。そのマネジメントシステムとして、国際規格のISO14001や環境省が定めた環境保全活動評価プログラム（エコアクション21）などがある。
	間伐	生長過程で過密となった森林に対して、本数を減らすために抜き切りをする作業のこと。「間伐」は健全で活力ある森林を育成するために必要な作業となっている。
	管網	水道管が網目状（ループ状）に布設されていること。水道の供給の安定性から、網目状配管にすることが望ましいとされている。
き	基幹相談支援センター	地域の相談支援の拠点として、総合的な相談業務（身体障がい・知的障がい・精神障がい）及び成年後見制度利用支援事業等の業務を行う施設。
	教育補助員	特別に支援の必要な子どもたちのニーズに応じて、きめ細やかな指導を行うために、担任の他に学習を支援する補助者のこと。
	行財政改革実行プログラム	第2次五泉市行財制改革大綱で示された事項を実践するための行動計画。（計画期間：平成24年度～平成28年度）
	行政評価	行政の行う仕事を評価（チェック）し、その結果に基づき、より効果的で効率的な仕事に改善していく行財政改革の手法の一つ。 五泉市では平成17年度から「効果的で効率的な行政経営」、「透明性の高い行政経営」を目的として行政評価システムを導入している。
	共同生活介護（ケアホーム）	地域に在住する一人暮らし及びそれに準ずる知的障がい者に対して、食事・入浴等のサービスを提供するとともに、相談業務を行い、その生活が安定して継続できるよう援助する場所。

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
け	経常収支比率	財政構造の弾力性・流動性を示す指標で、比率が高いほど余裕財源が少なく、財政の硬直化が進んでいることを表す。75％程度が妥当とされ、80％を超えると弾力性を失いつつあると考えられる。
	ゲートキーパー	地域の中で、自殺を考えている人に会ったとき、サインに気づき、自殺を防ぐ、早期対応の中心的な役割を果たす人。
	下水道雨水幹線	主として市街地内の浸水被害を防止するために雨水を排除する下水道のこと。
	建築協定	土地の所有者等の全員の合意によって建築基準法等の「最低の基準」にさらに一定の制限を加え、互いに守りあっていくことを「約束」し、その「約束」を県知事が認可するもの。
こ	高規格道路	全国的な自動車高速交通網を形成する自動車専用道路の「高規格幹線道路」と高規格幹線道路と一体となって自動車による高速交通網を形成する自動車専用道路、もしくは同等の規格を有する「地域高規格道路」の総称。
	公共職業安定所	職業安定法に基づき、都道府県労働局長の指導監督のもとに、職業紹介、職業指導、失業給付などに関する事務を行う国の行政機関。職安・職業安定所・ハローワークとも呼ばれる。
	耕種農家	田や畑で農作物を生産している農家。
	公立保育園民営化計画策定委員会	多様化する保育ニーズや効率的な保育園運営に対応するため、民間活力を活用した公立保育園の民営化を検討する委員会のこと。
	高齢化率	高齢化の状態を示すものとして一般的に用いられる指標で、総人口に対する65歳以上人口の割合。 国連などの定義に基づき、以下のように分類されている。 高齢化率 7%～14%…『高齢化社会』 高齢化率 14%～21%…『高齢社会』 高齢化率 21%～ …『超高齢社会』
	ごせん活き活き楽習達人バンク	日常生活や趣味など、あらゆる分野で知識・技術・経験をもって活動している人を指導者として登録する制度。
	五泉応援団	首都圏在住の五泉市出身者と、郷土の交流を深めることを目的に発足した団体。
	五泉市国際交流協会	産業、文化、スポーツ、教育等の幅広い分野での国際的な交流を推進し、国際理解の増進と国際友好親善の促進を図ることを目的として、平成3年11月に設立された国際交流団体。
	五泉市健康増進計画「健康ごせん21」	健康増進法に基づき、国の「健康日本21」及び県の「健康にいがた21」の基本的視点を踏まえて策定した総合的な健康を推進するための行動計画。（平成23年3月策定）
	五泉市歯科保健計画	市民の歯と口の健康づくりを推進し、生涯を通じたさらなる歯科保健の向上をめざして策定した計画。（平成23年3月策定）
	五泉市地球温暖化対策実行計画（地域推進版）	「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第3項により、温室効果ガスの排出抑制を市全体で取り組み、推進することを目的に策定する計画。
	五泉地域衛生施設組合	五泉市、阿賀野市、阿賀町における一般廃棄物等の処理施設について、設置及び管理運営する団体。
	五泉のブランド作物	代表的なものとして、さといも”帛乙女”、れんこん”五泉美人”、ねぎ、いちご、くり、チューリップ、ぼたん等が挙げられており、より良い商品として消費者・市場に評価され、他産地と比べ販売などで優位性を得ている。

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
こ	子育て支援センター	保護者たちの交流の場、親子で自由に過ごせる場、日頃の子育ての心配ごとや悩みについての相談、子育てに役立つ情報の収集と提供を目的として開設している。
	子ども・子育て新システム	政府が「明日の安心と成長のための緊急経済対策」（平成21年12月18日閣議決定）に基づいて検討を進めている幼保一元化を含む新たな次世代育成支援対策のための包括的・一元的なシステムのこと。
	子どもの居場所づくり	子どもたちの放課後や週末に、活動場所を設けること。
	子ども守り隊	登下校時などに、子どもたちの安全・安心のため、パトロールや指導を行っている市民ボランティア。
	コンパクトシティ	都市郊外化を抑制し、市街地のスケールを小さく保ち、歩いてゆける範囲を生活圏と捉え、コミュニティの再生や住みやすいまちづくりをめざそうとする発想。
	コンプライアンス	法令や規制、公務員倫理などの遵守。社会的秩序に反する行動や社会から非難されない行動をすること。
さ	再生可能エネルギー	石油・石炭など限りがあるエネルギー源に対し、自然エネルギー（太陽光、太陽熱、風力、地熱など）や再利用エネルギー（廃棄物燃焼熱の利用、発電など）等の再生が可能で資源が枯渇しないエネルギーのこと。
	財政力指数	標準的な行政活動を行うために必要な一般財源に対する税収入などの自主財源の割合を示す指数。1を下回れば地方交付税の交付団体、1を上回れば不交付団体となり、指標としては3カ年間の平均値を用いる。
	在宅介護支援センター	地域包括支援センターの支店的な役割を果たす機関で、地域の高齢者やその家族からの相談に応じたり、必要な福祉サービスが受けられるよう連絡調整を行ったりしている。五泉市内には次の5カ所の在宅介護支援センターがある。 ・在宅介護支援センター菅名の里 ・在宅介護支援センターうずらはし ・在宅介護支援センターすもとの里 ・五泉市村松在宅介護支援センター ・愛宕の里在宅介護支援センター
	産学官の連携	企業（産）が、高度な専門知識を持つ大学等（学）や公的機関等（官）と連携して、新製品開発や新事業創出を図ること。
	三次医療	高度な専門的な医療。
し	実質公債費比率	平成18年4月に地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行したことに伴い導入された新しい財政指標。 公債費による財政負担の程度を客観的に示す指標として、実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合を表すもの。実質公債費比率が18%以上の団体は、引き続き地方債の発行に許可を要する。また、25%以上の団体については、実質公債費比率の区分に応じて、起債の制限を受ける。
	指定管理者制度	公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることを目的とした制度。
	就労移行支援	一般就労等を希望し、適性に合った職場への就労等が見込まれる障がい者に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。
	就労継続支援（A型・B型）	通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に対して、就労の機会や生産活動の機会を提供することによって、その知識や能力の向上を図る訓練を行うサービス。 （A型）雇用契約に基づく就労が可能と見込まれる障がい者を対象とする。 （B型）就労の機会を通じて、生産活動に関する知識や能力の向上が期待されるが、雇用契約を結ぶことが困難な障がい者を対象とする。

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
し	循環型社会	環境への負荷を減らすために資源を有効に使い、破棄されるものを最小限におさえる社会のこと。
	循環型農業	自然の資源をむだにしないで、循環させていく農業をいう。例えば、稲わらや米ぬかは、トウモロコンなどを混ぜて家畜の餌にし、もみ殻は家畜小屋に敷き、ふんや尿と混じった物などから堆肥を作り、米や野菜の肥料にすること。
	省エネルギー設備	燃料、熱、電気等のエネルギー効率を向上させ、既存の設備と比較してエネルギー使用量を低減した設備。
	将来負担比率	地方公共団体の財政の健全化に関する法律により新たに導入された財政指標。一般会計などが将来負担すべき実質的な債務（地方債、退職手当、債務負担行為に基づく債務などで、公営事業会計、一部事務組合、広域連合、第三セクター等の分を含む）が、標準財政規模（市税、普通交付税などの使い道が自由な一般財源の規模）の何倍に当たるのかを指標化したもの。 将来負担比率が350%以上（平成22年度決算における市町村の基準）になると早期健全化計画を策定し、財政健全化の具体的な取り組みが必要になる。
	食育	さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。単なる料理教育ではなく、食に対する心構えや栄養学、伝統的な食文化、食ができるまでの第一次産業についての総合的な教育のことである。
	食料・農業・農村基本計画	21世紀の農政の基本指針である、食料・農業・農村基本法が掲げた基本理念を具体化するための計画。（平成22年3月策定）
せ	生活習慣病	食・運動・休養・嗜好（喫煙・飲酒）などの生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群の総称。以前は、「成人病」と呼ばれていたが、これは加齢だけが原因のように響くため、最大の原因である生活習慣を強調した形の「生活習慣病」という呼称に変更された。
	青少年育成センター	青少年非行防止に関係がある機関、団体、ボランティア等が参加し、青少年の健全育成を図ることを目的とした組織。
	青少年健全育成市民会議	青少年健全育成に係わる団体・機関等で組織する団体。
	成年後見制度	判断能力の不十分な成年者（認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等）を保護するための制度。
	石綿管	石綿繊維、セメント、珪砂を原料として作られた水道管。破損率がほかの管種よりも高いため、漏水の大きな原因となっている。現在は、製造されていない。
	先天性代謝異常	生まれつき成長に必要なホルモンが十分合成できない病気のこと。
そ	総合型地域スポーツクラブ	子どもから高齢者まで、地域に住む市民が主役となって、自ら運営・管理をする新しいスポーツクラブのシステム。さまざまなスポーツを愛好する人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれの趣向・レベルに合わせて楽しむことができる。また、地域コミュニティの形成にもつながるクラブを理想としている。
た	第二次五泉市行財政改革大綱	行政のムダを省き、歳入歳出の確保と効率的、効果的な行財政運営を行うための市の指針。（計画期間：平成24年度～平成28年度）
	男女共同参画	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うこと。
	男女雇用機会均等法	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保を図るとともに、女性労働者の就業に関して妊娠中及び出産後の健康の確保を図る等の措置を推進することを目的とした法律。
	単独処理浄化槽	トイレの汚水のみを処理する汚水処理浄化槽のこと。トイレの汚水以外は未処理のまま放流されるため、2001年4月、新設が禁止された。

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
ち	地域活動支援センター	障がいのある人に身体機能の維持向上、社会参加と自立の促進、生活の改善を図ることを目的に機能訓練、創作的活動など各種サービスを提供する機関。
	地域包括支援センター	平成18年4月1日から介護保険法の改正に伴い創設された機関で、高齢者の心身の健康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、財産管理、虐待防止などさまざまな課題に対して地域における総合的なマネジメントを担い、課題解決に向けた取り組みを行う組織。
	地産地消	「地域生産・地域消費」の略語で、地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費すること。
	地方債	地方公共団体が資金調達のために負担する債務で、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。
	チャレンジショップ	商店街の活性化を目的とした空き店舗対策として、空き店舗の一部を店舗開業希望者に、期間限定で格安に賃貸する創業支援事業。
	中核的経営体	地域農業の担い手としてリーダー的役割を担う農業者や法人のこと。
	中心市街地活性化計画	少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済の活力の向上を総合的かつ一体的に推進し、快適で魅力ある生活環境の形成、都市機能の集積、創造的な事業活動の促進を基本とした計画。
て	低公害車	排気ガス中に含まれる有害物質の量を少なくした、また、少ない燃料でたくさん走行できる「環境に配慮したクルマ」のこと。電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、ハイブリッド車、燃料電池車などがある。
	出前講座	市職員が講師となり、市民の元へ出向いて講座を開催することによって、市政への理解を深めてもらうなど、市民の学習機会の充実をお手伝いするもの。市民がいきいきとした暮らしを送り、心豊かな家庭や活力ある地域社会づくりにつながることを目的としている。
	寺子屋事業	小学生を対象に、互いに大切にしよう人間関係の醸成及び自学自習の生活習慣の形成をめざした教室。
と	糖尿病代謝異常者	血液検査の結果、血糖値が正常よりも高い者。
	特定健康診査	平成20年4月から高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、各医療保険者が40歳から74歳の加入者を対象として実施する生活習慣病予防のための健康診査。
	特別栽培農産物	農業の自然循環機能の維持増進を図るため、県が定めた基準の化学合成農薬(性フェロモン剤等誘引剤を除く。)の使用回数及び化学肥料の窒素分量を5割以上節減して栽培された農産物のこと。
	特別支援学校	障がいのある子どもたち一人ひとりのニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を克服するため、適切な指導と必要な支援を行うために設置される学校。
	特別支援教育	障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。
	特別児童扶養手当	知的障がいまたは身体障がいの状態にある20歳未満の児童について、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当。
	特用林産物	「しいたけ」、「えのきたけ」、「ぶなしめじ」等のきのこ類、樹実類、山菜類等、竹材、桐材、木炭等の森林原野を起源とする生産物のうち、一般の木材を除くものの総称。
	都市計画道路	健全で文化的な都市生活と機能的な都市活動が確保されるよう、都市の基盤的施設として都市計画法に基づいて都市計画決定した道路。

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
と	都市計画マスタープラン	都市の将来像や土地利用、都市施設整備のあり方や地域別の整備方針などを明確にした、都市計画の具体的な方針を示すもの。
	ドライシステム化	調理場の温度や湿度を適正に保ち、食中毒の発生や細菌の増殖を防止するため、床を濡らさないで常に乾燥した状態で調理できるように給食施設・設備の改修等を行うこと。
な	中食（なかしょく）	外食と家庭での料理の中間にあるものとし、惣菜や弁当を買って家庭で食べること。また、惣菜や弁当などのように家庭で調理加熱することなく、そのまま食事として食べられる状態の食品のこと。
	7種類14分別収集	【7種類】1. 燃えるごみ 2. 燃えないごみ 3. 古紙 4. 空き缶・空き瓶 5. ペットボトル 6. プラスチックごみ 7. 有害ごみ 【14分別】1. 可燃物 2. 不燃物 3. 新聞紙 4. 雑誌類 5. ダンボール 6. 紙パック 7. 空き缶 8. スプレー缶 9. 空き瓶 10. ペットボトル 11. プラスチック類 12. 乾電池 13. 蛍光灯 14. 水銀体温計
に	二次医療	入院治療等が必要な医療。
	認定農業者	農業経営改善計画が認定された農業者。
の	農業経営改善支援センター	効率的かつ安定的な農業経営体の育成と、それらの経営が地域の農業の相当部分を担うような農業構造の確立をめざした組織。認定農業者の育成指導や経営改善相談などを行っている。
	乗合タクシーさくら号	平成22年10月から運行を行っている市街地と郊外を結ぶ予約制の乗合タクシー。
は	パークアンドライド駐車場	自家用車・自転車・原付きバイクを公共交通機関乗降所（鉄道駅やバス停など）に設けた駐車場に停車させ、そこから鉄道や路線バスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に行く方法をパークアンドライドといい、パークアンドライドに利用できる駐車場。
	パートナーシップ	行政・NPO・企業など、立場の異なる組織や人同士が、明確な目的のもとに、対等な関係を結び、それぞれの得意分野を活かしながら、連携し協力しあうこと。
	パブリックコメント	行政等が政策や計画などを制定しようとするときに、広く公に（＝パブリック）に、意見・情報・改善案など（＝コメント）を求める手続きのこと。
	バリアフリー化	障がい者や高齢者等が社会生活に参加する上で、生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策を行うこと、もしくは具体的に障害を取り除くこと。
ひ	病後児保育	児童が病中または病後の回復期にあつて集団保育が困難な期間、保育園や医療機関等に付設された専用スペースなどで保育及び看護ケアを行う保育サービスのこと。
ふ	ファミリーサポートセンター	安心して子育てができるよう、子育ての手助けをして欲しい人と子育ての手助けができる人が会員となり、地域の中でお互いに助けあっていく会員制度。相互援助活動に関するコーディネイトやアドバイス等を行い、子育てを支援する。
	福祉のまちづくり条例	高齢者や障がい者をはじめ、全ての人が安全で快適に暮らせるまちづくりを推進するため、多くの人が利用する公共施設（建築物や道路など）について、整備基準に適合した整備を行うことを定めた条例。
	福祉のまちづくり推進計画	高齢者や障がい者の利用頻度の高い箇所や危険性の高い箇所などを調査し、必要となる箇所や公共施設を計画的に改修、整備していくことを定めた計画。
	フッ素洗口	歯ブラシ後、フッ化物洗口剤を30秒間ブクブクうがいする、むし歯予防の方法。
	ふれあいバス	平成22年10月から運行を行っている五泉地区と村松地区の市街地を結ぶ路線バス。

用語集（本文中の※印について解説）

	用 語	解 説
ほ	防犯組合連合会	五泉市と五泉村松職域防犯組合で構成し、主に次の活動を行っている。 1. 街頭犯罪及び侵入犯罪抑止活動 2. 高齢者を対象とした犯罪予防と広報活動 3. 少年の非行防止活動 4. 少年の薬物乱用防止対策
	母子保健推進員	お母さんと子どもの健康を守るために、妊娠・子育てで不安なことへの相談に乗る、身近な相談役。
ま	マタニティセミナー	妊娠・出産・育児に関する知識を深める教室。妊婦や父親同士の交流の場にもなっている。
	まちの駅	地域住民や来訪者が自由に利用できる休憩場所や地域情報を提供する機能を備え、さらには地域内交流・地域間連携を促進する公共的空間施設。（平成23年末現在：市内に1カ所）
	窓口のワンストップ化	各種の案内、受付、交付などのサービスを1カ所あるいは1回の手続きで提供する行政サービスのこと。
み	民生・児童委員	社会奉仕の精神をもって、生活に困っている人、児童、心身障がい者（児）、老人、母子世帯等、援護を必要とする人々の相談指導にあたる地域の奉仕者のこと。
	民有林	国が所有する「国有林」以外の森林のこと。民有林には、個人や会社が所有する私有林のほか、県や市町村が所有する公有林も含まれる。
め	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に加え、高血圧・血中の脂質（中性脂肪・コレステロール）異常・高血糖のうち2項目以上が該当している状態。
ゆ	ユニバーサルデザイン	誰もが使いやすいように製品や施設、生活環境、都市をデザインすること。
よ	用途地域	都市計画法の地域地区の一つで、用途の混在を防ぐことを目的としている。住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定めるもので、第一種低層住居専用地域など12種類がある。
	要保護児童対策地域協議会	虐待や非行などの要保護児童に関する問題について、関係機関等の連携により組織的に対応し、当該児童の早期発見及び適切な保護を図ることを目的に設置された組織。
	横須賀市衣笠地区交流	昭和初期、村松地区（旧川内村）の山間で雪崩に巻き込まれた飼主を2度にわたって救った忠犬タマ公。タマの行為に感激した新潟県出身の横須賀市の市民らが、横須賀市内の衣笠山公園中段広場に石碑を建てた。この忠犬タマ公が取り持つ縁から、衣笠地区の住民を田植え・稲刈りなどの農業体験に招いたり、衣笠地区で開催されるタマ公慰霊祭へ参加するなどの交流が生まれた。
ら	ライフライン	電気・ガス・水道・下水道・道路等の公共公益設備や電話・インターネット等の通信設備、圏内外に各種物品を搬出入する運送や人の移動に用いる鉄道等の物流機関など、都市機能を維持し、現代人が日常生活を送る上で必須の諸設備の総称。
り	リサイクル	製品化された物を再資源化し、新たな製品などの原料として利用すること。
	リデュース	環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために無駄・非効率的・必要以上の消費・生産を抑制あるいは行わないこと。
	リユース	一度使用された製品を、そのまま、もしくは製品のある部品をそのまま再利用すること。
	療育教室	就学前で心身に障がいのある幼児及びその保護者を対象に、専門指導員による指導訓練と保護者に対する療育技術指導を行い、それぞれの障がいに応じた発達を促し、集団または社会に適応できるよう育成助成する教室のこと。
ろ	6次産業化	農業は従来、1次産業としての農作物生産を行う事業であったが、2次産業である加工、3次産業である販売までを一体的に事業化し取り組むことで、新たな産業形態の創出と農業者の所得向上をめざすもの。